

胡適文集

商之

7

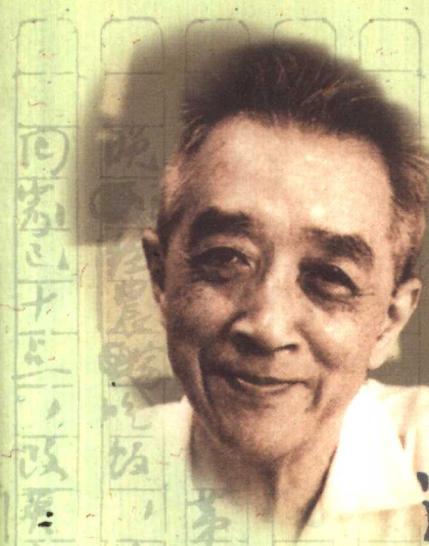
书信

(附 简明年谱)

第二三年，不意此文
塔長。

他勝了他。

向來心十五，改選文選子，計三三，收睡。



胡適文集

適之

7



人民文学出版社
一九九八年·北京

目 录

书 信

致胡近仁(1907年)	3
致胡近仁(1907年)	4
致母亲(1908年7月31日)	5
致母亲(1910年6月30日)	8
致母亲(1911年1月30日)	9
致江冬秀(1911年4月22日)	11
致母亲(1912年6月22日)	12
致母亲(1912年8月31日)	13
致母亲(1914年5月12日)	15
致江冬秀(1914年7月8日)	16
致母亲(1914年9月8日)	17
致母亲(1914年9月12日)	19
致江冬秀(1914年12月12日)	21
致《甲寅》编者(1915年7月)	21
致任鸿隽(1916年2月2日)	23
致钱玄同(1917年10月26日)	25
致钱玄同(1918年1月12日)	26
致陶孟和(1918年5月8日)	28

致母亲(1918年9月)	29
致钱玄同(1918年)	30
致黄觉僧(1919年5月)	31
致高一涵、张慰慈、章洛声(1919年10月8日).....	32
致钱玄同(1920年1月28日).....	34
致王子直(1920年5月18日).....	35
致萧宜森(1920年6月22日).....	36
致吴虞(1920年9月3日)	37
致钱玄同(1920年11月3日)	39
致胡近仁(1920年11月6日)	40
复青木正儿(1920年11月11日)	41
致青木正儿(1920年11月18日)	43
致青木正儿(1920年12月14日)	44
答陈独秀(1920年12月间)	47
致陈独秀(1920年底).....	48
致青木正儿(1921年1月24日)	49
致李大钊等《新青年》编委(1921年1月26日).....	51
致青木正儿(1921年2月8日)	54
致周作人(1921年2月14日)	56
致钱玄同(1921年3月5日)	58
致青木正儿(1921年5月19日)	59
致周作人(1921年8月30日)	61
致钱玄同(1921年12月10日)	62
致钱玄同(1922年5月24日)	63
致郭沫若、郁达夫(1923年5月15日)	64

致胡近仁(1924年6月4日)	66
致高一涵(1924年9月8日)	67
致王正廷(1924年11月5日).....	70
致李书华、李宗侗(1924年11月28日).....	71
致王国维(1925年2月13日).....	72
致钱玄同(1925年4月12日).....	73
致王国维(1925年10月9日).....	74
致陈独秀(1925年12月)	75
致鲁迅、周作人、陈源(1926年5月24日).....	77
致傅斯年(1926年8月24日).....	79
致江冬秀(1927年2月5日)	81
致钱玄同(1927年8月11日).....	84
致太虚(1927年10月8日).....	87
致张元济(1927年11月9日).....	89
致张元济(1927年12月10日)	90
致张元济(1927年12月14日)	91
致吴敬恒(1928年2月28日).....	92
致钱玄同(1928年3月29日).....	94
致《京报》社(1928年4月25日).....	95
致吴敬恒(1928年6月16日).....	96
致蔡元培(1928年6月16日).....	97
致蔡元培(1928年6月27日).....	97
致胡近仁(1928年7月24日).....	98
致罗家伦(1928年)	100
致张元济(1929年6月2日).....	101

致李璜、常燕生(1929年7月1日)	102
致刘公任(1929年8月8日).....	103
致胡祖望(1929年8月26日)	104
致周作人(1929年9月4日).....	106
致任鸿隽(1929年)	108
致张元济(1930年1月26日)	109
致白薇(1930年4月14日)	110
致杨杏佛(1930年4月30日)	111
致夏蕴兰(1930年9月26日)	112
致胡汉民(1930年11月25日)	113
致钱玄同(1930年12月20日)	114
致吴晗(1931年5月6日).....	117
致翁文灏、张子高(1931年8月19日).....	118
复吴晗(1931年9月12日)	119
致周作人(1931年9月26日)	120
致凌叔华(1931年12月28日)	121
致沈从文(1934年3月13日)	122
致吴奔星(1934年3月13日)	123
致雍剑秋(1934年3月28日)	124
致钱玄同(1934年4月18日)	125
致梁实秋(1934年4月26日)	126
致郑中田(1934年5月2日).....	127
致陈企霞(1934年9月11日)	128
致黄秋岳(1935年5月5日).....	129
致陶希圣(1935年6月10日)	130

致陶希圣(1935年6月12日)	132
致陈英斌(1935年7月24日)	134
致任访秋(1935年7月26日)	135
致陈博生(1935年7月30日)	136
致陈博生(1935年8月17日)	139
致汤尔和(1935年12月22日)	142
致周作人(1936年1月9日).....	144
致翁文灏、蒋廷黻、吴景超(1936年1月26日)	148
致叶英(1936年3月21日)	149
致吴健雄(1936年10月30日)	151
致苏雪林(1936年12月14日)	153
致周作人(1937年1月12日)	156
致孙伏园(1937年5月9日).....	158
致江冬秀(1938年11月24日)	159
致江冬秀(1939年3月14日)	161
致胡思杜(1939年7月23日)	163
致江冬秀(1939年11月14日)	164
致胡思杜(1940年3月21日)	166
答关仲豪(1941年3月31日)	167
致江冬秀(1941年4月10日)	168
致赵元任(1942年2月17日)	171
致傅斯年(1942年5月17日)	174
致王世杰、傅斯年等(1942年9月10日)	175
致王重民(1943年3月31日)	177
致王重民(1943年5月25日)	178

致王重民(1943年5月31日)	182
致王重民(1943年10月18日)	184
致刘修业(1946年3月2日)	185
致刘修业(1946年3月7日)	188
致邓世华(1947年6月2日)	190
致陈之藩(1948年3月3日)	192
致赵元任夫妇(1950年10月2日)	194
致黄纯青(1951年1月21日)	195
答朱文长(1953年6月16日)	196
致沈怡(1954年12月17日)	202
致沈怡(1955年1月3日)	203
致张爱玲(1955年1月25日)	204
致赵元任(1955年10月23日)	206
复胡光煦(1955年11月26日)	207
复赵元任(1955年12月19日)	208
致杨联陞(1956年4月10日)	209
致杨联陞(1956年4月中旬)	212
致赵元任夫妇(1956年11月18日)	217
致李济(1956年11月)	218
复陈之藩(1957年4月9日)	219
复赵元任夫妇(1957年4月29日)	221
复陈之藩(1957年5月2日)	223
复陈之藩(1957年10月15日)	226
复柳无忌(1957年11月3日)	227
复苏雪林(1958年5月12日)	229

答某先生(1958年12月13日)	230
复潘惠(1958年12月20日)	231
复徐文珊(1958年12月22日)	232
复杨云萍(1959年1月8日)	232
致李霖灿(1959年1月12日)	233
致唐富言等(1959年2月5日)	234
复吴祖坪、王绍桢(1959年1月21日)	234
复某君(1959年1月27日)	235
复韩石泉(1959年2月17日)	235
复桂裕(1959年2月28日)	237
致吴相湘(1959年3月4日)	238
致陈诚、王云五(1959年3月11日)	239
致程沧波(1959年3月13日)	241
复郑清茂(1959年5月23日)	243
复杨力行(1959年6月4日)	244
致王云五(1959年6月10日)	245
复苏雪林(1959年6月19日)	246
复罗锦堂(1959年6月23日)	247
复拙哉(1959年6月26日)	247
复彭君(1959年10月25日)	248
致赵元任(1959年11月5日)	250
复何勇仁(1959年11月17日)	251
复陈瑛(1959年11月20日)	252
致周法高(1959年11月30日)	253
致刘宗怡(1960年1月12日)	254

复梅贻琦(1960年1月29日)	254
复张圣述(1960年2月2日)	255
复张圣述(1960年2月15日)	256
复王世杰(1960年4月3日)	258
复黄应良(1960年4月27日)	259
复入矢义高(1960年5月26日)	259
致沈亦云(1960年10月9日)	263
致梁实秋(1960年11月18日)	266
致毛子水、姚从吾(1960年11月19日)	267
复王姜贵(1960年11月23日)	269
复陈君(1960年12月12日)	270
致胡天猎(1961年1月24日)	271
致沈裕民(1961年2月1日)	272
致杨亮功(1961年2月15日)	273
致胡天猎(1961年2月17日)	274
复赵聪(1961年2月24日)	275
致林中行、邵幼轩夫妇(1961年2月24日)	277
致齐如山(1961年4月16日)	278
致杨白衣(1961年5月19日)	279
复李祖法(1961年5月31日)	280
复李孤帆(1961年6月5日)	281
复苏雪林(1961年7月24日)	283
复赵聪(1961年7月24日)	284
致李孤帆(1961年8月28日)	285
复王某(1961年9月3日)	287

致李先闻夫妇(1961年9月27日)	288
复苏雪林(1961年10月4日)	289
致罗家伦(1961年10月6日)	291
致罗家伦(1961年10月7日)	292
复苏雪林(1961年10月10日)	293
复高宗武夫妇(1961年10月25日)	297
复翁燕娟(1961年10月25日)	299
复赵聪(1961年10月25日)	300

附录

胡适简明年谱 胡明 编撰 305

书信

致胡近仁*

近仁先生大大鉴：

别后于九月初八日始克抵申，明日即重阳矣。七夕尚与足下携手共观巧云，今日何日，乃不能得与足下共赏黄花令节矣！念之能无黯然魂销耶？小诗数章，附函寄呈，待足下评骘甚殷，匠石之斧，断断不可不挥也。今夕即有人返里，匆此布达。即询

进境

族侄驛頓首（一九〇七年）

英雄得自由，丈夫贵独立。

历尽诸险艰，妙理闲中得。

集随园句奉赠

（附诗）

挽王汇川

今年岁正始，揽胜到苏州。下榻劳贤主，先驱导远游。

凄凉闻噩耗，儿女有遗忧（君有子未周岁，有女未嫁）。何日苏台畔，携尊奠故邱。

十月九夜，离群索居，俯仰身世，率成右律。此诗和

者甚多，先生肯赐和一、二章否？

生今年十六，所事竟何成！苦虑忧如沸，愁颜酒易倾。伤心增马齿，起舞感鸡声。努力完天职，荣名非所营。

题秋女士瑾遗影

生前曾卜邻，相去仅咫尺，

云何咫尺间，彼此不相识。

身后见君影，倭刀光熠爚。

秋雨复秋风（秋女士口供止书“秋雨秋风愁杀人”一句），斯人不可作。

毅斋主人未定草

（附言）途中寄怀一诗，本未入流之流，不足记忆。如先生能为我点铁成金，则尤当九叩首以谢。騷又白。

* 本函最初见于《胡适家书手稿》，1989年8月安徽美术出版社出版。

致胡近仁**

近仁先生赐鉴：

前书成，以无便故未发。今复得诗若干首，录下，即求惠我斧削为荷。騷前曾言：此后必守“戒诗”之约。今乃自食其言，可愧也！然以别后景况日趋衰飒，故聊借此用自排遣。友

人任君赠辭诗有“雕虫宁素志，歌哭感当时”之语，辭感谢之至于极地，先生闻此，当知我心也。

侄辭白（1907年）

* * 本函最初见于《胡适家书手稿》。

致母亲*

慈亲大人膝下：

谨禀者，今日接得大人训示及近仁叔手札，均为儿婚事致劳大人焦烦。此事男去岁在里时大人亦曾提及，彼时儿仅承认赶早一二年，并未承认于今年举行也。此事今年万不可行。一则男实系今年十二月毕业，大哥及诸人所云均误耳。此言男可誓之鬼神，大人纵不信儿言，乃不信二哥言耶？二则下半年万不能请假。盖本校定章若此学期有一月中请假一小时者，于毕业分数上扣去廿分；有二月中均有请假者扣四十分，余以次递加。大人素知儿不甘居人下，奈何欲儿以此儿女之私，抑儿使居人后乎！（一小时且不敢，何况二三礼拜乎？）三则吾家今年断无力及此。大人在家万不料男有此言，实则二哥所以迟迟不归者，正欲竭力经营，以图恢复旧业。现方办一大事，拮据已甚，此事若成，吾家将有中兴之望（此事亦不必先行禀知，以里中皆非善口，传之反贻人猜疑，贻人啧啧烦言也）。若大人今年先为男办此事，是又以一重担加之二哥之身

也。且男完婚，二哥必归，而此间之事将成画饼矣。大人漁念儿言句句可以对上帝，儿断不敢欺吾母。儿今年尤知二哥苦衷，望大人深信儿言，并以此意语二嫂知之。四则男此次辞婚并非故意忤逆，实则男断不敢不娶妻，以慰大人之期望。即儿将来得有机会可以出洋，亦断不敢背吾母私出外洋不来归娶。儿近方以伦理勗人，安敢忤逆如是，大人尽可放心也。儿书至此，儿欲哭矣，嗟夫吾母，儿此举正为吾家计，正为吾二哥计，亦正为吾一身计，不得不如此耳。若此事必行，则吾家四分五裂矣，大人不可不知也。若大人因儿此举而伤心致疾或积忧成疴，则儿万死不足以蔽其辜矣。大人须知儿万不敢忘吾母也。五则大人所言惟恐江氏处不便，今儿自作一书申说此中情形，大人可请禹臣师或近仁叔读之，不识可能中肯，以儿思之，除此以外别无良法矣。大人务必请舅父再为男一行，期于必成，期于必达儿之目的而后已。六则合婚择日儿所最痛恶深绝者，前此在家曾屡屡为家人申说此义。为人父母者，固不能不依此办法，但儿既极恨此事，大人又何必因此极可杀、极可烹、鸡狗不如之愚人蠹虫瞎子之一言，而以极不愿意、极办不到之事，强迫大人所生所爱之儿子耶？以儿思之，此瞎畜生拣此日子，使儿忤逆吾所最亲敬之母亲，其大不利一；使儿费许多笔墨许多脑力宛转陈辞以费去多少光阴，其大不利二；使吾家家人不睦，其大不利三；使母亲伤心，其大不利四；使江氏白忙一场，其不利五；使舅父奔走往来，两面难为情，其不利六，有大不利者六，而犹曰今年大利，吾恨不得火其庐、牛马其人而后甘心也。儿言尽于此矣，大人务必体谅儿子之心，善为调停，万不可待至临时贻无穷之忧。男手颤欲哭，不能再书